

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1061	指導者育成		01	一般会計	
			10	教育費	
38	お互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する		05	社会教育費	
			03	同和教育費	
		ライトピアおおやまだ	101	指導者育成経費	
			01	指導者育成経費	
担当部課名	ライトピアおおやまだ		細目	101	指導者育成経費
作成者氏名	辻 克治	連絡先	47-1160	細々目	01

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	各地域・団体・職場等における人権啓発の指導者	各地域・団体・職場において、自主的に差別をなくす対取り組みが広がり人権文化を創造する担い手が育ってきます。				
本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会同和教育について指導を行い関係団体の育成 ・地区内啓発 ・各相談事業 					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)			
人件費合計(A)	0	0	0
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,775	2,710	2,710
報酬	2,185	2,186	2,190
社会保険料	257	259	260
旅費	279	213	210
その他	54	52	50
合計(A+B)	2,775	2,710	2,710
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	2,775	2,710	2,710
上記①～③に関する特記事項			
社会同和教育指導員(嘱託職員)			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
巡回相談	件	516	520	525			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
巡回相談の件数	地区に入り家庭訪問して住民の生活支援・自立促進を図るため、指導員の訪問件数を指数とします。	件	516 目標 ()	520	525
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

同和教育指導員は平成8年度から配置しています。一時指導員が急に退職して一時配置なしのときもありましたが、現在は活動中です。多様化する相談事業について研修の頻度を増やさないと対応できない状況です。また事務量も増えている中で職員の削減によって、指導員に一部であるがそのしわ寄せがいくようになった。本来の配置目的のとおり活動をさせたい。

評価	必要性	4	少しづつではあるが、差別をなくす取り組みが地域や職場に広がりつつあります。社会同和教育において指導員は必要です、また、各相談事業も欠かせませんので、引き続き実施していきたいと考えています。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		